

名議第 357001 号
令和 8 年 3 月 26 日

名護市長
渡具知 武豊 殿

名護市議会
議長 金城 隆



第 10 回市民意見交換会に係る政策等の提言について

名護市議会においては、名護市議会基本条例第 6 条第 1 項に基づき、令和 7 年 11 月 10 日及び 11 日の 2 日間にわたり計 4 会場にて第 10 回市民意見交換会を開催しました。

今年度は新たな試みとして、小グループで話し合う「ワールドカフェ形式」を導入し、できるだけ多くの多様な意見を聞くことを目指しました。

意見交換会で寄せられた意見・要望等については、名護市議会として回答を作成し報告書としてまとめたところです。市民からのご意見等を踏まえ、広報広聴委員会において特に重要な取組事項について協議した結果、下記のとおり提言することとされましたので報告いたします。

記

提言事項

介護福祉士養成施設の誘致及び設置支援への取組

提言理由・内容

わが国における少子高齢化の進行は著しく、介護を必要とする高齢者が増える一方で、それを担う人材不足が深刻な課題となっています。本市におきましても、高齢化率が 24% に達している状況下で、十分な介護サービスの供給が今後さらに困難となる可能性が高くなると予想されます。

介護現場からも介護人材の確保・定着支援に係る施策の拡充を求める声があるなか、今回の市民意見交換会において「介護関係の学校ができてほしい」との意見が上がりました。

介護人材不足の解消には当該分野の資格を持つ人材育成が不可欠であり、介護福祉士養成施設の設置（誘致）を進めることで、地元で人材を育成・確保し、地域内定着を図る仕組みが構築されるものと考えます。

また、介護サービスの充実のみならず、若年層の地域定住促進、地域社会の経済活性化への波及効果も期待されるところです。

誰もが安心して、健やかでいきいきと暮らせる地域づくりを目指す上で重要となる、介護サービスの持続可能性の確保に向け、介護福祉士養成施設の誘致や設置に際しての支援方法について検討いただくよう提言いたします。